

実施計画(平成31年度～平成33年度)事業一覧(節毎)

2節 歴史伝統(受け継がれてきた価値を再認識し、心豊かに暮らせる村)

	基本施策 番 号	実施施策 番 号	事業名
1	①	①	沖縄戦調査事業
2	①	①	文化財悉皆調査事業
3	①	②	村内文化財整備事業
4	①	②	村内遺跡発掘調査事業
5	①	③	中城城跡災害復旧事業
6	①	③	中城城跡整備事業
7	②	③	文化団体育成支援事業

実施計画書（平成31年度～平成33年度）

事業名		沖縄戦調査事業				事業区分	継続事業
前年度事業費	10,063	千円	平成31年度事業費	13,622	千円	対前年増減額	3,559 千円
						実施計画総事業費（平成31～33年度）	44,882 千円

事業概要	第四次総合計画位置付け										担当課		
沖縄戦の悲惨さや平和の大切さを後世に伝えていくため、沖縄戦調査員（嘱託）6名を雇用し、体験者からの聞き取りや各種文献の調査などを行い、村内で起きた沖縄戦の実態を明らかにして記録に残す。	施策の大綱	2節 歴史伝統（受け継がれてきた価値を再認識し、心豊かに暮らせる村）										生涯学習課	
	基本施策	① 歴史的環境の保全と活用										担当係	文化係
	実施施策	① 学術調査・研究活動の推進										担当名	渡久地 真
	その他関係施策		中城城跡整備基本計画								内線番号	780	
	事業期間	平成	28	年	～	平成	33	年	積算資料	有			

事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
中城村は沖縄戦により大きな被害を受けているにもかかわらず、これまでに沖縄戦に関する本格的な調査がなされた事がなく、その実態がほとんど把握されていない状況にある。沖縄戦を体験した世代の方達も年々減少しつつあるため、聞き取りや戦跡調査、文献調査などを行い中城村における沖縄戦の実態を記録に留め、中城の歴史の一部として継承していく必要がある。					調査の成果は、護佐丸歴史図書館での企画展や地域情報システムなどで公開し、小中学校や各種団体の平和学習にも活用していく予定である。そのことにより、地域住民の平和への意識を高めるとともに、戦争の悲惨さや平和の尊さを次世代に受け継いでいくことができる。				

平成31年度			平成32年度			平成33年度		
予算項目	事業費（千円）	内 容	予算項目	事業費（千円）	内 容	予算項目	事業費（千円）	内 容
報酬費	9,600	嘱託員4名	報酬費	9,600	嘱託員4名	報酬費	9,600	嘱託員4名
報償費	1,232	専門家指導謝礼金	共済費	1,510	嘱託員共済費	共済費	1,510	嘱託員共済費
旅 費	370	県外旅費・通勤手当等	報償費	202	専門家指導謝礼金	報償費	203	専門家指導謝礼金
需用費	2,420	消耗品・印刷製本	旅 費	131	県外旅費	旅 費	0	県外旅費
			需用費	5,550	消耗品・印刷製本	需用費	2,954	消耗品・印刷製本
合計	13,622		合計	16,993		合計	14,267	

財 源 内 訳					財 源 内 訳					財 源 内 訳				
国庫補助金名	沖縄振興特別推進市町村交付金	10,897	千円	80 %	国庫補助金名	沖縄振興特別推進市町村交付金	12,264	千円	72 %	国庫補助金名	沖縄振興特別推進市町村交付金	10,083	千円	71 %
県補助金名	町村支援事業	1,362	千円	10 %	県補助金名	町村支援事業	1,533	千円	9 %	県補助金名	町村支援事業	1,260	千円	8.8 %
地方債			千円	%	地方債			千円	%	地方債			千円	%
その他（ ）			千円	%	その他（ ）			千円	%	その他（ ）			千円	%
一般財源		1,363	千円	10 %	一般財源		3,196	千円	19 %	一般財源		2,924	千円	20 %

K P I	・ 仮称「中城村の戦跡マップ」2種の発刊 ・ 中城村に関する米軍資料の翻訳	前年度との相違点	仮称「中城村の沖縄戦」証言編の執筆、編集、発刊	前年度との相違点	仮称「中城村の沖縄戦」の執筆、編集、資料編発刊
目標	仮称「中城村の戦跡マップ」A3見開き版・冊子版の2種発刊。米軍資料300枚の翻訳。	目標	仮称「中城村の沖縄戦」証言編 300部発刊	目標	仮称「中城村の沖縄戦」資料編 300部発刊
今後の展開	32年度: 仮称「中城村の沖縄戦」証言編発刊 33年度: 仮称「中城村の沖縄戦」資料編発刊				

実施計画書（平成31年度～平成33年度）

事業名		文化財悉皆調査事業				事業区分		継続事業			
前年度事業費	9,796	千円	平成31年度事業費	9,075	千円	対前年増減額	▲ 721	千円	実施計画総事業費 (平成31～33年度)	30,707	千円

事業概要		第四次総合計画位置付け										担当課		
村内文化財の保全と地域住民の郷土愛の高揚を図るため、文化財調査嘱託員3名を雇用して村内に残る文化財の悉皆調査を行い、各字の文化財パンフレットを発刊する。		施策の大綱	2節 歴史伝統（受け継がれてきた価値を再認識し、心豊かに暮らせる村）										生涯学習課	
		基本施策	① 歴史的環境の保全と活用										担当係	文化係
		実施施策	① 学術調査・研究活動の推進										担当名	渡久地 真
		その他関係施策										内線番号	780	
		事業期間		平成	25	年	～	平成	33	年	積算資料	有		

事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
村内には多くの文化財が残されているが、これらのほとんどは所在や由来が把握されておらず、開発などにより失われつつある。そのため年次的に各字の文化財調査を進め、その成果を広く公開して文化財愛護意識の高揚を図り、文化財の保存・活用を行う必要がある。地域の文化財に詳しい高齢者が年々減少していることから、迅速かつ効率よく多くの情報を収集する事が課題である。					文化財パンフレットを発刊して調査対象の各字に配布することで、郷土愛や文化財保護意識の高揚を図ることができる。また、護佐丸歴史資料図書館において調査成果展を開催することで村内外に文化財の情報発信を行うことができ、同施設の活用にも繋がる。また、調査で判明した文化財の中から特に重要なものを村の文化財に指定して整備することで保存・活用を行うことができる。				

平成31年度			平成32年度			平成33年度		
予算項目	事業費（千円）	内 容	予算項目	事業費（千円）	内 容	予算項目	事業費（千円）	内 容
報酬費	7,200	嘱託員3名	報酬費	7,200	嘱託員3名	報酬費	7,200	嘱託員3名
旅費	108	一般非通勤手当等	共済費	1,132	嘱託員共済費	共済費	1,132	嘱託員共済費
需用費	1,767	消耗品・印刷製本費	需用費	1,418	消耗品・印刷製本費	需用費	3,550	消耗品・印刷製本費
合計	9,075		合計	9,750		合計	11,882	

財 源 内 訳					財 源 内 訳					財 源 内 訳				
国庫補助金名	沖縄振興特別推進市町村交付金	7,260	千円	80 %	国庫補助金名	沖縄振興特別推進市町村交付金	7,800	千円	80 %	国庫補助金名	沖縄振興特別推進市町村交付金	9,505	千円	80 %
県補助金名	市町村支援事業	907	千円	10 %	県補助金名	市町村支援事業	975	千円	10 %	県補助金名	市町村支援事業	1,188	千円	10 %
地方債			千円	%	地方債			千円	%	地方債			千円	%
その他（ ）			千円	%	その他（ ）			千円	%	その他（ ）			千円	%
一般財源		908	千円	10 %	一般財源		975	千円	10 %	一般財源		1,189	千円	10 %

K P I	3ヶ字の調査（聞き取り各字15人）、文化財パンフレットの発刊、成果展示会の実施	前年度との相違点	地域住民の心の拠所である村内の拝所をまとめた普及版「中城村のアシビ」の発刊。これまでの調査成果の整理と補足調査の実施。	前年度との相違点	これまでの調査成果の集大成となる「仮称・戦前の中城」の刊行に向けた資料の執筆、編集、印刷製本などを実施する。
目標	南浜・北浜・浜で延べ45人から聞き取りを行い、文化財パンフレット（前述3字集約）と「中城村の拝所」を発刊する。成果展示会も実施する。	目標	・「中城村のアシビ」の発刊 ・調査成果の集大成「仮称・戦前の中城」（33年度発刊予定）発刊に向けた補足調査。	目標	「仮称・戦前の中城」の発刊。
今後の展開	各字調査は31年度で終了。32～33年度に2種の冊子の編集・発刊を行う。				

実施計画書（平成31年度～平成33年度）

事業名	村内文化財整備事業					事業区分	継続事業
前年度事業費	5,549	千円	平成31年度事業費	3,685	千円	対前年増減額	▲ 1,864 千円
						実施計画総事業費（平成31～33年度）	9,234 千円

事業概要 文化財施設の劣化や説明板未整備のため、村指定文化財が持つ歴史や文化的価値を伝えることができていない状況にあるため、村指定文化財の保存及び活用を図るため、修復及びサイン設置工事などの整備事業を実施する。	第四次総合計画位置付け										担当課	
	施策の大綱	2節 歴史伝統（受け継がれてきた価値を再認識し、心豊かに暮らせる村）									生涯学習課	
	基本施策	① 歴史的環境の保全と活用									担当係	文化係
	実施施策	② 歴史的環境及び自然環境の保全									担当名	渡久地 真
	その他関係施策										内線番号	780
事業期間		平成	28	年	～	平成	31	年	積算資料	無		

事業を実施する必要性と現状の課題	事業実施効果
村指定史跡である「伊舎堂前の三本ガジマル」のガジマルは南根腐病(菌)に感染し、ガジマルの1本が完全に枯れ、残りの2本も今後枯れる可能性が高い。伊舎堂自治会からもガジマルの植替えの要望が上がっており、当該文化財の活用を図るためにもガジマルの植替えや菌に感染した土の入れ替えなどの整備事業を実施する必要がある。	ガジマルの植替えを行うことにより、その文化財が持つ価値や歴史を見学者に伝えることができ、文化財保護意識の高揚を図ることができる。

平成31年度			平成32年度			平成33年度		
予算項目	事業費（千円）	内 容	予算項目	事業費（千円）	内 容	予算項目	事業費（千円）	内 容
工事請負費	3,685	環境整備行工事						
合計	3,685		合計	0		合計	0	

財 源 内 訳					財 源 内 訳					財 源 内 訳				
国庫補助金名	沖縄振興特別推進市町村交付金	2,948	千円	80 %	国庫補助金名			千円	%	国庫補助金名			千円	%
県補助金名	市町村支援事業	368	千円	10 %	県補助金名			千円	%	県補助金名			千円	%
地方債			千円	%	地方債			千円	%	地方債			千円	%
その他（ ）			千円	%	その他（ ）			千円	%	その他（ ）			千円	%
一般財源		369	千円	10 %	一般財源			千円	%	一般財源			千円	%

K P I	伊舎堂前の三本ガジマルの整備	前年度との相違点	一括整備	前年度との相違点	
目標	ガジマルの植替え、土の入れ替え				
今後の展開	整備後は地域住民の文化財保護意識高揚を図りつつ、文化財ツアー等で活用する。	目標		目標	

実施計画書（平成31年度～平成33年度）

事業名		村内遺跡発掘調査事業				事業区分	継続事業
前年度事業費	4,000	千円	平成31年度事業費	4,136	千円	対前年増減額	136 千円
						実施計画総事業費（平成31～33年度）	12,336 千円

事業概要 村内の各所に点在する埋蔵文化財包蔵地（遺跡）における開発行為に対し、開発側と埋蔵文化財の取り扱いについて調整を行うため、事前に遺跡の範囲確認等のための試掘調査を実施する。	第四次総合計画位置付け							担当課	
	施策の大綱	2節 歴史伝統（受け継がれてきた価値を再認識し、心豊かに暮らせる村）						生涯学習課	
	基本施策	① 歴史的環境の保全と活用						担当係	文化係
	実施施策	② 歴史的環境及び自然環境の保全						担当名	渡久地 真
	その他関係施策							内線番号	780
事業期間		平成	29	年	～	平成	33	年	積算資料 有

事業を実施する必要性と現状の課題	事業実施効果
開発を予定している場所に埋蔵文化財（遺跡等）が有る場合は、開発行為の前に事業者と埋蔵文化財の取り扱い（発掘調査を行うか、開発計画を変更して保存できるのか等）についての調整を行わねばならない。そのためには、事前に遺跡の範囲、深さ、年代などについて把握しておく必要があるため試掘調査を実施する。	試掘調査を行い開発予定地内での埋蔵文化財の状況を把握することで、その取り扱いについての調整を円滑に進めることができる。また、開発の途中で重要な遺構などが発見されて工事を中断するというようなことを防ぐことができる。

平成31年度			平成32年度			平成33年度		
予算項目	事業費（千円）	内 容	予算項目	事業費（千円）	内 容	予算項目	事業費（千円）	内 容
報酬	1,664	一般職非常勤	共済費	9	発掘作業員労災保険	共済費	6	発掘作業員労災保険
賃金・共済費	1,809	作業員・臨時賃金・共済費	賃 金	3,464	発掘作業員・臨時職員	賃 金	2,865	発掘作業員・臨時職員
旅費	24	一般非通勤手当	需用費	237	消耗品等	需用費	1,059	消耗品等
需用費	235	消耗品等	賃借料	290	草刈機等賃借	賃借料	270	草刈機等賃借
賃借料	404	草刈機等賃借						
合計	4,136		合計	4,000		合計	4,200	

財 源 内 訳					財 源 内 訳					財 源 内 訳				
国庫補助金名	国宝重要文化財等保存整備費補助金	3,288	千円	79 %	国庫補助金名	国宝重要文化財等保存整備費補助金	3,200	千円	80 %	国庫補助金名	国宝重要文化財等保存整備費補助金	3,360	千円	80 %
県補助金名	文化財保存事業費補助金	353	千円	8.5 %	県補助金名	文化財保存事業費補助金	353	千円	8.8 %	県補助金名	文化財保存事業費補助金	361	千円	8.6 %
地方債			千円	%	地方債			千円	%	地方債			千円	%
その他（ ）			千円	%	その他（ ）			千円	%	その他（ ）			千円	%
一般財源		495	千円	12 %	一般財源		447	千円	11 %	一般財源		479	千円	11 %

K P I	県営公園内の遺跡2件、古墓50基の調査	前年度との相違点	県営公園内の古墓15基の調査を実施する。	前年度との相違点	県営公園内の古墓10基の調査と並行して、これまでの調査成果をまとめた発掘調査報告書を発刊する。
目標	県営公園内の古墓20基の調査を中心に実施し、個人住宅開発等で調査の必要性が出てきた場合は随時対応する。	目標	県営公園内の古墓15基の調査を実施する。	目標	県営公園内の古墓10基の調査と、発掘調査報告書を発刊する。
今後の展開	県営公園内古墓の分布調査を引き続き行い、ホテル跡撤去時の埋蔵文化財確認も実施する。				

実施計画書（平成31年度～平成33年度）

事業名		中城城跡災害復旧事業				事業区分	継続事業（緊急）
前年度事業費	36,000	千円	平成31年度事業費	35,072	千円	対前年増減額	▲ 928 千円
						実施計画総事業費（平成31～33年度）	35,072 千円

事業概要 平成29年6月19日に中城城跡西の郭北側斜面地で地滑りや大岩の転倒が発生した。その被害拡大を防ぐため、文化庁の補助金を得て発掘調査、実施設計、地滑り対策工事などの災害復旧を実施する。	第四次総合計画位置付け										担当課	
	施策の大綱	2節 歴史伝統（受け継がれてきた価値を再認識し、心豊かに暮らせる村）									生涯学習課	
	基本施策	① 歴史的環境の保全と活用									担当係	文化係
	実施施策	③ 中城城跡や歴史の道等の計画的な保存整備									担当名	渡久地 真
	その他関係施策	中城城跡整備基本計画									内線番号	780
事業期間		平成	29	年	～	平成	31	年	積算資料	有		

事業を実施する必要性と現状の課題	事業実施効果
平成29年6月19日に大雨が原因で中城城跡西の郭北側斜面地で幅約43m、奥行約20mの地すべりと大岩の転倒が発生し、管理用道路の一部が使用できない状態となっている。さらに西の郭の遺物包含層の一部も流出する状況となっている。これらを放置しておくことで被害が拡大し、史跡本体（城郭）の保存や観覧者の利用にも影響が及ぶため災害復旧事業を実施する必要がある。	当該事業により地すべり対策を行うことで史跡の保存を図ることができ、危険箇所が減ることで観光客の安全性も確保できる。

平成31年度			平成32年度			平成33年度		
予算項目	事業費（千円）	内 容	予算項目	事業費（千円）	内 容	予算項目	事業費（千円）	内 容
報酬	3,329	一般職非常勤職員						
賃金・共済費	664	作業員・臨時賃金、労災						
旅費	48	一般非通勤手当						
需用費	1,745	消耗品費等						
委託料	3,674	実施設計・施工監理						
賃借料	531	調査用足場等						
工事請負費	25,081	災害復旧工事						
合計	35,072		合計	0		合計	0	

財 源 内 訳					財 源 内 訳					財 源 内 訳				
国庫補助金名	国宝重要文化財等保存整備費補助金	29,750	千円	85 %	国庫補助金名		0	千円	%	国庫補助金名		0	千円	%
県補助金名	文化財保存事業費補助金	735	千円	2.1 %	県補助金名		0	千円	%	県補助金名		0	千円	%
地方債			千円	%	地方債		0	千円	%	地方債		0	千円	%
その他（ ）			千円	%	その他（ ）		0	千円	%	その他（ ）		0	千円	%
一般財源		4,587	千円	13 %	一般財源		0	千円	%	一般財源		0	千円	%

K P I	地滑り斜面地の復旧、地滑り抑止	前年度との相違点		前年度との相違点	
目標	遺構確認のための発掘調査、災害復旧工事の実施。	目標		目標	
今後の展開	災害復旧後は、定期的なモニタリングの実施。				

実施計画書（平成31年度～平成33年度）

事業名		中城城跡整備事業				事業区分		継続事業（公約）			
前年度事業費	38,000	千円	平成31年度事業費	40,164	千円	対前年増減額	2,164	千円	実施計画総事業費（平成31～33年度）	118,571	千円

事業概要 中城城跡の保存・活用を図るため、発掘調査を始めとした各種調査や修復工事などの整備事業を実施する。	第四次総合計画位置付け										担当課	
	施策の大綱	2節 歴史伝統（受け継がれてきた価値を再認識し、心豊かに暮らせる村）									生涯学習課	
	基本施策	① 歴史的環境の保全と活用									担当係	文化係
	実施施策	③ 中城城跡や歴史の道等の計画的な保存整備									担当名	渡久地 真
	その他関係施策	中城城跡整備基本計画									内線番号	780
事業期間		平成	7	年	～	平成	41	年	積算資料	有		

事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
中城城跡は築城から600年余りも経過しており、城内各所に危険箇所が見られる。これらを放置しておくで破損が拡大する可能性が高いことから、これらの修復を行うとともに、発掘調査等により城の歴史や構造を解明し、城の保存・活用を図っていく必要がある。さらに、城の正しい価値や歴史を観覧者に把握してもらい、より集客を図るためにもできるだけ早く城の近隣に博物館を建設する必要がある。					城壁等の修復を行うことで史跡自体を恒久的に保存する事ができ、危険箇所が減ることとで観光客の観覧範囲も広がる。また、これまでの発掘調査により築城技術や城の歴史、海外との交易状況も徐々に解明されつつあるため、城の近隣に博物館ができるまでの間はこれらの成果を護佐丸歴史資料図書館で公開することで、村内外に中城城跡に関する情報を発信することができる。				

平成31年度			平成32年度			平成33年度		
予算項目	事業費（千円）	内 容	予算項目	事業費（千円）	内 容	予算項目	事業費（千円）	内 容
報酬費	140	整備検討委員報酬	報酬費	140	整備検討委員報酬	報酬費	140	整備検討委員報酬
賃金・共済費	8,467	作業員・臨時賃金、労災	賃金・共済費	8,467	作業員・臨時賃金、労災	賃金・共済費	8,158	作業員・臨時賃金、労災
報償費	25	専門家指導謝礼金	報償費	25	専門家指導謝礼金	報償費	25	専門家指導謝礼金
旅 費	354	費用弁償、県外旅費	旅 費	354	費用弁償、県外旅費	旅 費	287	費用弁償、県外旅費
需用費	1,531	消耗品、印刷製本等	需用費	461	消耗品費等	需用費	406	消耗品費等
委託料	4,628	設計監理、測量等	委託料	5,120	設計監理、測量等	委託料	4,180	設計監理、測量等
賃借料	894	車両賃借等	賃借料	847	車両賃借等	賃借料	847	車両賃借等
工事請負費	24,125	修復工事	工事請負費	24,750	修復工事	工事請負費	24,200	修復工事
合計	40,164		合計	40,164		合計	38,243	

財 源 内 訳					財 源 内 訳					財 源 内 訳				
国庫補助金名	国宝重要文化財等保存整備費補助金	32,000	千円	80 %	国庫補助金名	国宝重要文化財等保存整備費補助金	32,000	千円	80 %	国庫補助金名	国宝重要文化財等保存整備費補助金	30,400	千円	79 %
県補助金名	文化財保存事業費補助金	840	千円	2.1 %	県補助金名	文化財保存事業費補助金	840	千円	2.1 %	県補助金名	文化財保存事業費補助金	798	千円	2.1 %
地方債			千円	%	地方債			千円	%	地方債			千円	%
その他（ ）			千円	%	その他（ ）			千円	%	その他（ ）			千円	%
一般財源		7,324	千円	18 %	一般財源		7,324	千円	18 %	一般財源		7,045	千円	18 %

K P I	一の郭の整備完了		前年度との相違点	一の郭北側城壁と西側城壁の結節点のコーナー部を中心に解体・積み直しを実施する。	前年度との相違点	一の郭北側城壁の西側の積み直しを実施する。
目標	一の郭北側城壁のうち平成28年度に解体していた部分の積み直し工事と、城壁周辺での発掘調査を実施する。					
今後の展開	32年度からは一の郭北側城壁コーナー部の解体・積み直しを実施する。		目標	一の郭北側城壁と西側城壁の結節点のコーナー部の整備完了。	目標	一の郭北側城壁の整備完了。

実施計画書（平成31年度～平成33年度）

事業名	文化団体育成支援事業					事業区分	継続事業
前年度事業費	952	千円	平成31年度事業費	952	千円	対前年増減額	0 千円
						実施計画総事業費（平成31～33年度）	2,856 千円

事業概要 文化の振興発展、村民へ文化推奨と身近に文化事業を感じてもらえる環境の構築を担う村の文化的補助金交付団体（文化協会、中城ジュニアオーケストラ、中城村伝統組踊「護佐丸」保存会、南上原組踊保存会）に対し、補助金を交付して育成の支援を行う。	第四次総合計画位置付け							担当課	
	施策の大綱	2節 歴史伝統（受け継がれてきた価値を再認識し、心豊かに暮らせる村）						生涯学習課	
	基本施策	② 伝統文化・民族芸能の継承と発展						担当係	文化係
	実施施策	③ 文化団体の育成支援の推進						担当名	渡久地 真
	その他関係施策							内線番号	780
事業期間		平成		年	～	平成		年	積算資料 有

事業を実施する必要性と現状の課題	事業実施効果
育成団体の自主活動の活性化のため補助金の交付などの支援が必要である。これら団体が行政に頼らず、各団体が独自に自主事業を進めることができる環境作りも必要であることから、成果発表の機会増加のため村主催行事等への出演依頼を行う。	本村の文化活動が充実して行くことにより、地域文化の振興発展、村民へ文化推奨することで、豊かな生活の一助になる。

平成31年度			平成32年度			平成33年度		
予算項目	事業費（千円）	内 容	予算項目	事業費（千円）	内 容	予算項目	事業費（千円）	内 容
補助金	652	文化協会	補助金	652	文化協会	補助金	652	文化協会
	200	中城組踊護佐丸		200	中城組踊護佐丸		200	中城組踊護佐丸
	100	中城ジュニアオーケストラ		100	中城ジュニアオーケストラ		100	中城ジュニアオーケストラ
合計	952		合計	952		合計	952	

財 源 内 訳				財 源 内 訳				財 源 内 訳			
国庫補助金名		千円	%	国庫補助金名		千円	%	国庫補助金名		千円	%
県補助金名		千円	%	県補助金名		千円	%	県補助金名		千円	%
地方債		千円	%	地方債		千円	%	地方債		千円	%
その他（ ）		千円	%	その他（ ）		千円	%	その他（ ）		千円	%
一般財源		952 千円	100 %	一般財源		952 千円	100 %	一般財源		952 千円	100 %

K P I	各団体の活動活性化と会員の増加	前年度との相違点	自主活動開催へ向けた協力 会員の増員へ向けた協力	前年度との相違点	第11回中城文化まつりへの出演依頼 自主活動開催へ向けた協力 会員の増員へ向けた協力
目標	自主活動の開催増。活動の活性化へ向けた会員を増員。補助金交付団体に新たに南上原組踊保存会を加える。	目標	自主活動の開催増。 活動の活性化へ向けた会員を増員。	目標	第11回中城文化まつりへの出演。 自主活動の開催増。 活動の活性化へ向けた会員を増員。
今後の展開	継続的な団体の育成支援、指導者の育成や活動補助を行う。				